壺川小学校　学校便り　№１８　　2020 年 12 月 24 日（木）

命と笑顔が輝く壺川小

文責　校長　藤米田成二

２学期の終業式を迎えました。ご協力ありがとうございました。

８月３１日から始まった２学期が、今日でいよいよ終業式を迎えました。コロナ禍での２学期で、行事一つ一つを見直しながら子どもたちの安全を第一に考え取り組んできました。残念ながら学習発表会や例年盛り上がるＰＴＡバザー、学年行事、地域の校区運動会や学校キャンプ等実施できませんでしたが、１学期にできなかった運動会は何とか２学期に実施することができました。子どもたちの活躍を保護者の皆様にお届けできたかと思います。また、校外学習や見学旅行、宿泊教室、修学旅行については、各学年感染対策をしっかりとすることで実施できました。やはり教室での学びだけでなく、現地で見聞きしたこと、体験したことは子どもたちにとって大きな学びとなりました。校内では、たてわり班活動を通して学年間のつながりを深め、たてわりそうじでは異学年で協力している姿が素敵でした。

９月　ミニ運動会より

毎日のマスクの着用や感染防止対策等、保護者の皆様にご協力いただき、無事に２学期を終えることができました。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力が、子どもたちの成長の大切な基礎になっていると思います。本当にありがとうございました。

たてわり班活動　１２月編

みんな、話をよく聞いています。

１１月から始まったたてわり班活動。１２月にもたてわり遊びとたてわりそうじが行われました。

前回は初めての活動だったため、戸惑う場面が見られましたが、今回は５・６年生も自信をもって下学年の子どもたちをまとめていました。

たてわり班遊びでは、昼休みに室内と運動場に分かれて遊びました。前回とは違う遊びだったようで、リーダーの話をしっかりと聞いて活動できました。下学年の喜んで遊ぶ様子を見て、（保護者のように）笑顔で見守る高学年の姿が印象的でした。また、たてわり班でのそうじでは、どの班もとても一生懸命に頑張りました。同学年ではなく異学年だからこそ、互いの姿を見合いながら刺激を受けて高め合っているようで、子どもたちの成長を感じます。

熱心にそうじに取り組んでいます。

一つ一つの活動を通して、子どもたちは私たち大人が思っている以上のことを学び、吸収しているようです。私たち大人も、子どもたちの良きモデル（お手本）となれるよう気を引き締めなければならないな、と改めて感じた２学期でした。

明日から１４日間の冬休みです。

明日から冬休みに入ります。１４日間の冬休み、感染防止対策を十分にして充実した生活が送れますよう、そして健康で安全な生活が送れますよう、よろしくお願いします。

(1)　健康な生活を・・・新型コロナだけでなくインフルエンザ等もこれからが本番ですので、注意が必要です。マスクの着用、手洗いの徹底、人込みは避ける等よろしくお願いします。

(2)　「冬休みならでは」を大切に・・・年末年始の行事があります。ご家庭で子どもたちにも仕事を任せてみてはいかがでしょう。また、お年玉等お金の使い方も見てあげてください。

※３学期は、１月８日（金）からです。各学級でお知らせしてある準備等しっかりとして、気持ちのいいスタートを切ってほしいと思います。（給食あり、１３時２０分より下校予定）